

## CEC21ワークショップ 研修プラン No3

- 1 研修名  
柏市教職員冬季情報活用講座
- 2 期 日  
平成24年12月25日(火) 13:30~16:00 (150分)
- 3 開催場所  
柏市立中原小学校
- 4 対象者  
地域の教職員 14名(小学校教諭)
- 5 担当者  
佐和 申明
- 6 利用モジュール  
(○)理論説明 ( )課題解決 (○)思考ツール

### 7 研修の流れ [150分]

(1) 事前アンケート記入・挨拶・研修の流れの説明 [10分]

| 時  | 主な活動内容                      | 具体的内容・備考  | 備考  |
|----|-----------------------------|---|---|
|    | 0. 出席確認及びグループ分け             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所属, 性別, 経験年数が異なる3グループに分ける。<br/>(グループ4~5名)</li> <li>・ ファシリテーターを指名しておく。</li> </ul> | <b>【名簿】</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループ</li> <li>・ ファシリテーター</li> </ul> |
| 1分 | 2. 教育委員会あいさつ<br><b>【佐和】</b> |   |   |
| 2分 | 3. CEC挨拶<br><b>【中川】</b>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ CECの事業であることを伝える</li> </ul>   |   |
| 7分 | 4. 事前アンケート記入                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 整理番号は【事後アンケート(2枚)】と合わせるようにする。</li> <li>・ 回収は【研修直後アンケート】実施後に行う。</li> </ul>        | <b>【研修前アンケート】</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ A-001 ~ A-014</li> </ul>      |

(2) アイス・ブレイキング [10分]

| 時  | 主な活動内容                      | 具体的内容・備考                           | 備考           |
|----|-----------------------------|------------------------------------|--------------|
| 1分 | 1. コミュニケーション力育成講座のねらいを知る。   | ・ 求められているテーマであることを説明する。            | 【スリーワード自己紹介】 |
| 1分 | 2. ワークショップ形式で進めていくことを知る。    | ・ グループのメンバーとグループファシリテーターの確認をする。    |              |
| 1分 | 3. アイス・ブレイキングの役割を理解する。      | ・ アイス・ブレイキングの効果を説明する。              |              |
| 1分 | 4. スリーワード自己紹介をカードに書く。       | ・ 今年を表す漢字一文字を書く。                   |              |
| 5分 | 5. 自己紹介を行う。<br>・ 1人1分以内     | ・ グループファシリテーターが進行する。               |              |
| 1分 | 6. その他のアイス・ブレイキングの方法について知る。 | ・ 他己紹介, サークル・トーキング, ビンゴゲームについて触れる。 |              |

(3) 思考モジュール② (C-2 : 「ブレインストーミング」 + 「KJ法」モジュール) [70分]

| 時   | 主な活動内容                                    | 具体的内容・備考  |
|-----|---|---|
| 3分  | 1. ワークショップのねらいを知る。                        | ・ 参加型の学習方法である「ブレインストーミング」及び「KJ法」を体験するワークショップであることを伝える。  |
| 7分  | 2. ブレインストーミングの基本ルールと進め方を理解する。             | ・ 参加者（学習者）全員で意見を出し合い、新たなアイデアを生み出すための手法であることを説明する。<br>・ 資料（スライド）を使い、ブレインストーミングの原則と進め方を確認する。  |
| 7分  | 3. アイディアをカードに書く。<br>テーマ：「発表ができる子どもを育てる方法」 | ・ 付箋紙を参加者に配布し（一人10枚程度）、まず各自のアイデアを書き込ませる。（キーワードで書き出すように指示する。）  |
| 15分 | 4. グループ内でアイデアを出し合う。【交流】                   | ・ 学年、担当教科、役職等を考慮してあらかじめグループを作っておく。（WS開始時にグループごとに座らせておくことよい。）<br>・ グループファシリテーター（進行役）を決める。（あらかじめ指名しておくことスムーズである。）<br>・ 付箋紙を1枚ずつ出しながら、順番に発表させる。<br>・ グループファシリテーターは、「批判厳禁」に留意させ、話しやすい雰囲気作りに努める。<br>・ 発表した付箋紙は模造紙に貼っていく。（ここでは、関連性は考慮せず、無造作に並べてよい。） |

|     |   |   |
|-----|---|---|
| 5分  | 5. KJ法の概要と進め方を理解する                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カード化されたアイディア（意見）をブレインストーミングでグループ化し，整序して，問題解決の道筋を明らかにしていくための手法であることを伝える。</li> <li>・資料（スライド）を使い，KJ法の概要と進め方を確認する。</li> </ul>   |
| 20分 | 6. 出されたアイディアをもとに，グループごとに話し合っ<br>て意見をまとめる。<br>【討論】 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブレインストーミングを行ったグループでKJ法を行う。</li> <li>・模造紙に貼られているカードを，関連性のあるものを集めて貼り直し，グループ化する。</li> <li>・線でつないだり，丸で囲んだりして，グループ間の関係を図解化する。</li> <li>・図解化，文章化（見出し等）されたものを見ながら，グループ内で討論する。</li> <li>・意見を組み合わせたり改良したり（統合改善）して，グループとしての意見をまとめていく。</li> <li>・意見がまとまったグループは発表の準備をする。</li> </ul> |
| 10分 | 7. グループごとに発表する。                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループファシリテータを中心に，グループの意見を発表する。（各グループ2分程度）</li> </ul>   |
| 3分  | 8. 「ブレインストーミング」＋「KJ法」のまとめをする。                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブレインストーミング及びKJ法の手順とポイントを確認する。</li> <li>・今後，ブレインストーミング及びKJ法を取り入れた学習計画を立てる。</li> </ul>  |

(4) 休憩 [10分]

(5) 理論解説 [45分]

| 時  | 主な活動内容                          | 具体的内容・備考  |
|----|---------------------------------|---|
| 5分 | 1. 「21世紀型コミュニケーション力」について理解する。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料スライドを提示しながら，「21世紀型コミュニケーション力」について説明する。</li> <li>【配布資料：「コミュニケーション力指導の手引き」p8-9】</li> </ul>  |
| 5分 | 2. 「21世紀型コミュニケーション能力表」について理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科・領域共通の21世紀型コミュニケーション能力表について説明する。</li> <li>【配布資料：「続コミュニケーション力指導の手引き」p8-11】</li> <li>・算数を例に，そのつみあげについて説明する。</li> <li>【配布資料：「続コミュニケーション力指導の手引き」p20-23】</li> </ul> |
| 3分 | 3. モデル授業の概要を理解する。               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・配付資料を読み，モデル授業の概要について理解する。</li> </ul>  |

|     |                  |   |
|-----|------------------|---|
| 25分 | 4. モデル授業を視聴する。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業の概要を説明し、視聴の視点を示す。</li> <li>【配布資料：「続コミュニケーション力指導の手引き」p48-49】</li> <li>【対話】 2年 国語「ゆめののりものを紹介する会を開こう」 約7分</li> <li>【交流】 2年 生活 「5年生に願ひする会を開こう」 約6分</li> <li>【討論】 5年 社会「魚を増やすにはどちらがよいか」 約5分</li> <li>【説得・納得】 5年 算数「時間を分数で表すにはどうしたらよいか」 約5分</li> </ul> |
| 7分  | 5. 授業設計のイメージをもつ。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要に応じてビデオを止める。</li> <li>・ モデル授業の感想やこれからの授業に活かしていきたいことを小グループで話し合う。</li> </ul>   |

(6) 研修のまとめ・事後アンケート記入 [5分]

<準備チェックリスト>

アンケート用紙

研修前 (両面)       研修直後 (片面)       研修後 (両面)

ワークショップ

模造紙 (2枚×3グループ)       付箋紙 (10枚×14名)

グループ用マジック (3色×3グループ)       フェルトペン (14本)

資料

スリーワード自己紹介

【配布資料：「コミュニケーション力指導の手引き」p8-9】

【配布資料：「続コミュニケーション力指導の手引き」p8-11】

【配布資料：「続コミュニケーション力指導の手引き」p20-23】

【配布資料：「続コミュニケーション力指導の手引き」p48-49】

モデル授業指導案×4

プレゼンデータ

モデル授業動画 (DVD)

インタビュー準備